

「数理・データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム」に関する自己点検・評価体制における意見等（2022年3月31日）

学内からの視点

<リテラシー教育プログラム>

1 プログラムの履修・修得状況

現代社会学部では、必修の講義科目から構成されているため全員が受講し、単位を修得できなかった学生も次年度以降に必ず履修し、卒業までに修得することになる。

子ども育成学部では、現時点において選択科目を組み入れているため、全員が履修・修得する訳ではないが、今後、必修化を行う予定である。

2 学修成果

現代社会学部では2020年度の1年生から、子ども育成学部では2021年度からの1年生を対象としてプログラムを開始したところである。今後、当該学生が卒業研究を行う際に、数理・データサイエンス・AIの要素を取り入れた研究に取り組むことが期待される。

3 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

2021年度の現代社会学部の科目における学生アンケート結果は以下の通りであり、満足度・理解度は高い。

科目	総合評価点（5点満点）
ビジネス情報演習Ⅰ	4.23
ビジネス情報演習Ⅱ	4.27
情報科学概論	4.19

2021年度の子ども育成学部の科目における学生アンケート結果は以下の通りであり、満足度・理解度は高い。

科目	総合評価点（4点満点）
情報処理演習	3.43
人間と情報	3.31

4 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

両学部とも学生アンケートの総合評価点が高いため、後輩への学生の推奨度も高いと推察される。

5 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

現代社会学部では、必修の講義科目から構成されているため全員が受講する。子ども育成学部では、今後必修化を予定している。

＜応用基礎教育プログラム＞

1 プログラムの履修・修得状況

応用基礎教育プログラムは現代社会学部にて 2020 年度より開始した。取得要件科目に 2 年次から履修可能になる科目が含まれているため、2021 年度に初めての修了者を認定した。

2 学修成果

2020 年度の 1 年生から、2 年間の学習で修了するプログラムを開始したところである。今後、当該学生が卒業研究を行う際に、数理・データサイエンス・AI の要素を取り入れた研究に取り組むことが期待される。

3 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

応用基礎教育プログラムの科目（リテラシー教育プログラムの科目については上記参照）における学生アンケート結果は以下の通りであり、満足度・理解度は高い。

科目	総合評価点（5 点満点）
データサイエンス基礎 I	4.03
情報社会と情報倫理	4.00
人工知能とその活用	4.33
プログラミング基礎	4.20
データサイエンス実践演習 I	4.00
データサイエンス実践演習 II	4.50

4 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

両学部とも学生アンケートの総合評価点が高いため、後輩への学生の推奨度も高いと推察される。

5 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2021 年度の入学者よりカリキュラムを改変し、データサイエンス系の科目を取得しやすくした。データサイエンス基礎 I (旧カリキュラムでは情報統計学 I) の履修者は 58 名 (2020 年度の情報統計学 I は 32 名) であり、プログラム 2 年目の 2022 年度にはさらなる修了者を認定できる見込みである。また、今後は Zoom を利用した遠隔講義や講義のオンデマンド配信を利用して、子ども育成学部の学生も履修可能な体制を整える予定である。